



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社 ノザワ
 コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野澤 俊也
 (氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4112

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,657	9.8	193	—	137	—	15	—
23年3月期第2四半期	6,975	△20.2	△51	—	△92	—	△138	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △34百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △159百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	0.65	—	
23年3月期第2四半期	△5.93	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
24年3月期第2四半期	20,758	—	8,411	—	38.2	—	339.44	—
23年3月期	20,100	—	8,003	—	39.8	—	342.94	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,921百万円 23年3月期 8,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,400	7.8	550	155.4	430	276.3	190	—	8.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公 司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3

「2.サマリー情報(その他)に関する情報(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	24,150,000 株	23年3月期	24,150,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	811,710 株	23年3月期	811,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	23,338,403 株	23年3月期2Q	23,339,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の停滞や原発問題、さらには電力規制と大きな打撃を受けたものの、サプライチェーンの復旧やインフラ整備などにより回復の兆しが見え始めました。しかしながら、欧州の財政問題による欧米の景気減速、急激な円高進行から輸出産業を中心に企業収益が圧迫され、景気の先行きは不透明な状況で推移致しました。建築材料業界におきましても、新設住宅着工戸数は一部に底打ちの兆しが見られるものの、依然として低水準で推移しており、震災からの復旧復興の遅れや企業間競争の激化など引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは環境型商品の開発を進め商品群の拡充を図りました。押出成形セメント板「アスロック」と太陽電池を一体化した外壁システム「アスロックソーラーウォール」（特許出願済）は、平成22年7月より発売、第1号物件施工完了後、商品モニタリングをした結果、関係各所より高評価を受けたことから平成23年7月より全国販売を開始しました。また、「アスロック」のデザインパネルに夏場の強烈な日射熱を宇宙に跳ね返す機能的なリブを持つ押出成形セメント板「レフスカイ」を、その機能を最大限に発揮するために赤外線に対して反射率の優れた新たな遮熱機能塗装仕上げをした「カラリドクール」を、8月より同時発売致しました。いずれもヒートアイランドを抑制する業界初の機能付デザインパネルです。

さらに、2011年度グッドデザイン賞を押出成形セメント部門で初めて受賞した「アスロックグリーンウォールビルトインタイプ」（特許出願済）は、外壁一体型ビルトイン壁面緑化パネルで省エネやヒートアイランド現象の緩和、美観向上、環境負荷低減等顧客のニーズを捉えた商品で10月より出荷を開始致しました。また、アスロック発売40周年記念事業として設計者の皆様を対象に斬新なパネルのデザインを自由にご提案いただく「アスロックデザインキャンペーン」を実施、第1期の最優秀作品を商品化し「ランダムライン900」（意匠登録出願済）を7月より発売致しました。遮光によるリブの陰影が大小異なる影の配列となり時間の経過と共に壁面の表情を幻想的に変え、ダイナミックで重厚感のある商品となっております。5月末に発表した第2期の最優秀作品につきましては、当社新商品として発売する予定です。農業分野では、ミネラル肥料「マインマグシリーズ」に有機栽培に使用できる「マインマグN（ナチュラル）」を追加、3月より発売致しました。有機栽培に適した土壌を作り、作物の光合成を増進、生育促進と品質向上が期待できます。当第2四半期累計期間の販売数量は販路開拓から206t（前年同四半期は28t）と大幅に伸びております。

生産部門では、電力規制のなか、埼玉工場では休止中の自家発電装置の再稼働により不足分の電力を補いました。また、旺盛な販売数量に応えるため柔軟な運転体制を行い受注数量増に対応致しました。管理部門では、関係会社の業務システム構築等によるコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、76億57百万円（前年同四半期比9.8%増加）となりました。当社グループの単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別売上高につきましては、押出成形セメント製品関連では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は46億24百万円（前年同四半期比12.9%増加）、住宅用軽量外壁材は8億85百万円（前年同四半期比31.5%増加）となりましたが、スレート関連は5億30百万円（前年同四半期比8.6%減少）、耐火被覆工事は4億34百万円（前年同四半期比13.5%減少）、石綿除去工事は1億57百万円（前年同四半期比31.1%減少）となりました。

利益面につきましては、増産効果に加え、生産性の向上や諸経費削減を推進したこと等から、営業利益は1億93百万円（前年同四半期は51百万円の営業損失）、経常利益は1億37百万円（前年同四半期は92百万円の経常損失）となりました。四半期純利益は投資有価証券評価損54百万円を計上した結果、15百万円（前年同四半期は1億38百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が増加したことが、受取手形及び売掛金が減少したことから、74億36百万円（前連結会計年度末と比較して9億60百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が1億30百万円減少、有形固定資産が減価償却等により1億59百万円減少したことから、133億21百万円（前連結会計年度末と比較して3億1百万円減少）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し207億58百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が35百万円減少、短期借入金が増加したことから、58億94百万円（前連結会計年度末と比較して8億45百万円増加）となりました。固定負債の残高は、長期借入金が増加したことから、64億52百万円（前連結会計年度末と比較して5億95百万円減少）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し123億46百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司の合弁先である積水ハウス㈱からの出資金の受入れにより少数株主持分4億90百万円を計上したこと等から、84億11百万円（前連結会計年度末と比較して4億8百万円増加）となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億76百万円増加し、24億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は50百万円（前年同四半期は1億96百万円の増加）となりました。これは税金等調整前四半期純利益78百万円、減価償却費2億34百万円や、たな卸資産の減少51百万円等の資金の増加要因があったものの、売上債権の増加額3億37百万円や法人税等の支払額68百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は57百万円（前年同四半期は97百万円の減少）となりました。これは有形固定資産の取得による支出82百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の増加は7億92百万円（前年同四半期は5億58百万円の減少）となりました。これは長短借入金の返済による支出32億14百万円や、親会社による配当金の支払額46百万円等の資金の減少要因があったものの、短期借入れによる収入35億80百万円や少数株主からの払込みによる収入4億90百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、東日本大震災からの復興需要もあり、景気は一部に持ち直しの動きはあるものの、欧米経済の減速、円高、原発問題の長期化、電力不足への懸念などから予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは顧客ニーズを先取りした新商品・新工法の開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組んでおります。建材事業では、止水性能をアップしながらコストダウンを実現した押出成形セメント板「アスロック」専用2次防水工法「ニューセフティ工法」を開発、拡販につなげてまいります。環境対策事業では、ハイパート外断熱工事・スレートリフレッシュ工事等に加え、太陽電池一体型外壁システム、外壁一体型壁面緑化や遮熱機能塗装仕上げアスロックなど環境負荷低減に貢献できる商品の拡充により一層の事業拡大につなげてまいります。海外事業では、中国遼寧省瀋陽市に積水ハウス社と合弁で設立した「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」は2012年4月操業に向けて工場建設をすすめております。また、上海市に設立した「野澤貿易（上海）有限公司」では営業人員の増員を実施し、「アスロック」の更なる普及と拡販に努めてまいります。

生産部門におきましては、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）による品質の向上と納期の短縮、生産効率の更なる改善によるコストダウン、需要動向に即応した生産体制により収益向上に努めてまいります。管理部門におきましては、IT活用による業務効率を高め、更なるトータルコストダウンに取り組んでまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高164億円、営業利益5億50百万円、経常利益4億30百万円、当期純利益1億90百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成23年5月27日に、積水ハウス㈱と中国において、押出成形セメント板の製造を目的とした合弁会社、「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」を設立しました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,813,046	2,489,804
受取手形及び売掛金	3,398,562	3,765,121
商品及び製品	327,502	304,392
原材料及び貯蔵品	79,675	85,116
未成工事支出金	242,810	209,498
その他	632,019	587,978
貸倒引当金	△16,806	△4,964
流動資産合計	6,476,809	7,436,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,557,275	2,490,726
機械装置及び運搬具（純額）	882,189	794,308
土地	7,284,080	7,284,080
建設仮勘定	18,406	19,732
その他（純額）	187,812	181,217
有形固定資産合計	10,929,765	10,770,065
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,453,945	1,323,106
その他	1,270,999	1,246,558
貸倒引当金	△46,943	△33,592
投資その他の資産合計	2,678,001	2,536,071
固定資産合計	13,622,815	13,321,359
繰延資産	520	346
資産合計	20,100,145	20,758,654

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,372,485	2,337,154
短期借入金	1,663,000	2,591,000
未払法人税等	80,011	82,327
賞与引当金	179,120	184,200
その他	753,940	699,407
流動負債合計	5,048,557	5,894,089
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	2,842,000	2,280,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,371,349	1,397,950
資産除去債務	13,050	13,109
その他	533,738	483,675
固定負債合計	7,047,987	6,452,585
負債合計	12,096,545	12,346,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	967,539	935,961
自己株式	△46,626	△46,645
株主資本合計	4,840,486	4,808,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,715	△27,164
為替換算調整勘定	—	△143
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
その他の包括利益累計額合計	3,163,113	3,113,090
少数株主持分	—	490,000
純資産合計	8,003,600	8,411,979
負債純資産合計	20,100,145	20,758,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,975,751	7,657,558
売上原価	5,105,617	5,517,880
売上総利益	1,870,133	2,139,677
販売費及び一般管理費	1,921,597	1,946,068
営業利益又は営業損失(△)	△51,464	193,608
営業外収益		
受取利息	1,827	328
受取配当金	21,315	20,210
貸倒引当金戻入額	—	14,965
その他	23,004	21,133
営業外収益合計	46,147	56,639
営業外費用		
支払利息	49,313	37,752
支払手数料	17,109	31,098
その他	20,775	44,026
営業外費用合計	87,199	112,878
経常利益又は経常損失(△)	△92,515	137,369
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,835	—
特別利益合計	9,835	—
特別損失		
固定資産除却損	1,109	4,494
投資有価証券評価損	42,764	54,632
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,927	—
特別損失合計	52,801	59,127
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135,482	78,242
法人税、住民税及び事業税	13,875	70,935
法人税等調整額	△11,064	△7,791
法人税等合計	2,811	63,143
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138,293	15,098
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△138,293	15,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△138,293	15,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,173	△49,879
為替換算調整勘定	—	△143
その他の包括利益合計	△21,173	△50,023
四半期包括利益	△159,467	△34,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159,467	△34,924
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135,482	78,242
減価償却費	247,677	234,000
社債発行費償却	173	173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△53,521	△25,192
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52,028	26,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,650	5,080
受取利息及び受取配当金	△23,143	△20,539
支払利息	49,313	37,752
固定資産除却損	1,109	4,494
投資有価証券評価損益(△は益)	42,764	54,632
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,927	—
売上債権の増減額(△は増加)	281,306	△337,093
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,784	51,049
仕入債務の増減額(△は減少)	48,199	△53,211
その他	△117,313	△19,691
小計	450,174	36,297
利息及び配当金の受取額	23,143	20,539
利息の支払額	△50,064	△38,880
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△226,786	△68,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,467	△50,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,960	△82,152
投資有価証券の取得による支出	△5,999	△6,173
その他	△12,681	31,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,640	△57,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	3,580,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△2,480,000
長期借入れによる収入	1,400,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,894,000	△734,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
少数株主からの払込みによる収入	—	490,000
親会社による配当金の支払額	△47,162	△46,463
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,111	△7,111
その他	△256	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558,530	792,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459,703	676,758
現金及び現金同等物の期首残高	2,732,386	1,813,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,272,682	2,489,804

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

区 分	期 別		期 別		増 減
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		
押出成形セメント製品	2,911,289 千円		3,438,809 千円		527,520 千円
スレート関連	301,843		340,239		38,396
その他	34,444		37,822		3,377
合計	3,247,577		3,816,871		569,294

(注) 1 金額は製造価格によります。

2 上記の金額には消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、製商品については受注生産によらず、主として見込み生産を行っております。

また、その他の事業の受注はありません。

区 分	期 別		期 別		増 減	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	460,097	491,303	606,400	566,246	146,303	74,943
スレート工事	110,037	33,540	59,171	48,840	△50,866	15,300
耐火被覆工事	526,611	476,313	506,364	457,207	△20,247	△19,106
石綿除去工事	346,665	158,500	143,877	13,438	△202,787	△145,061
その他工事	371,698	375,775	605,339	759,066	233,641	383,290
合計	1,815,110	1,535,432	1,921,153	1,844,797	106,043	309,364

(注) 上記の金額には消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

区 分	期 別		期 別		増 減
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		
建築材料関連事業	千円		千円		千円
押出成形セメント製品関連	4,771,084		5,510,068		738,983
スレート関連	580,220		530,360		△49,859
耐火被覆	502,151		434,265		△67,885
石綿除去	229,243		157,929		△71,314
その他	871,115		1,005,527		134,412
計	6,953,814		7,638,152		684,337

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間19,406千円であり、前年同四半期比△2,530千円となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増 減
	金 額	割合	金 額	割合	
積水ハウス㈱	904,932 千円	13.0 %	1,835,642 千円	24.0 %	930,709 千円
伊藤忠建材㈱	900,702	12.9	764,493	10.0	△136,208

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は上記のとおりです。

2 上記の金額には消費税等は含まれていません。